

平成30年度第1回（第223回）仙台市国民健康保険運営協議会 会議録

開催日時 平成30年8月8日(水) 13:30～14:10

場 所 仙台市役所本庁舎2階 第二委員会室

会議次第

1 開会

2 議事

(1) 協議事項

① 平成29年度仙台市国民健康保険事業特別会計決算（案）について

【資料1-1～1-3】

(2) 報告事項

① 事業費納付金・標準保険料率算定に係るスケジュールについて

【資料2】

出席委員（21人）

- 大内委員、佐藤(昭)委員、沼田委員、武川委員、小野寺委員、佐藤(太)委員
- 永井委員、青沼委員、清水委員、駒形委員、柴崎委員、北村委員
- 柿沼委員（会長）、小山委員（副会長）、渡辺委員、高橋(次)委員、庄司(俊)委員  
鎌田委員、木村委員
- 山本委員、庄司(秀)委員

欠席委員（2人）

長谷川委員、高橋(将)委員

事務局

健康福祉局長、健康福祉局次長、保険高齢部長、保険料徴収担当課長、保険年金課長、同課管理係長、同課徴収対策室長、同課保険係長

青葉区保険年金課長、宮城総合支所保険年金課長、宮城野区保険年金課長、若林区保険年金課長、太白区保険年金課長、秋保総合支所保健福祉課長、泉区保険年金課長

《署名委員》

佐藤(昭)委員、清水委員

《会議経過》

- 開会
  
- 欠席者報告
  
- 会長の柿沼委員により議事進行
  
- 署名委員の指名
  
- (1) 協議事項

【会長】

それでは、協議事項の「平成29年度仙台市国民健康保険事業特別会計決算(案)について」事務局よりご説明願います。

【保険年金課長】

(資料1-1～1-3に基づき説明)

【会長】

ただいま、説明がありました件について、ご意見、ご質問等がございましたらお願いをいたします。

【鎌田委員】

ご説明ありがとうございます。保険料収納率の推移で、93.44%まで伸びているということは、大変なご努力というふうには思っております。対策としていろいろと手を打っていただいていると思いますが、現状でどのような手段で収納を図られているのか、内訳などを教えていただきたいと思っております。コンビニ収納、クレジットカード収納なども昨今始まっておりますので、このあたりの部分と、滞納整理の取り扱い等について、ご説明をいただければと思います。

【保険料徴収担当課長】

徴収対策室という組織を平成24年度に設置しましたが、収納率向上については、口座振替の推進ということを第一の目標にしてまいりました。平成26年2月には、ペイジー口座振替受付サービスを導入しまして、これはキャッシュカードで、区役所・総合支所の窓口で、その場で口座振替の申込みができるという制度でございます。平成24年度の6月時点で、口座振替は世帯数ベースで37.07%と4割に満たなかったものが、本年度、平成30年6月現在で53.12%となっております。口座振替ですと、残高不足の方は結果的に収納率向上には繋がりませんが、被保険者の方のご努力で、毎月きちんと収納されておまして、こちらの収納率が95%ぐらいございます。これをベースに毎年口座振替を増やしたことによって、現年度の収納率がまず向上したということでございます。

次にコンビニ収納を導入しておりますが、こちらは現年度の方ではあまり使っておりませんで、滞納が繰り越されたような方々が分割納付する時に、365日24時間どこでも納められるということで納付いただいております、滞納繰越の収納率が上がっている、というところがございます。

最後に滞納処分でございますが、平成29年度ベースで、国民健康保険で差押えをした件数が、759件でございます。金額ベースでは約4千万円ほどでございます。以上でございます。

**【鎌田委員】**

クレジットカード収納はこれからですか。

**【保険料徴収担当課長】**

昨年度より仙台市税においてクレジットカード収納を導入してございますが、国民健康保険の場合、80%以上の方がいわゆる低所得の方で、クレジットカードでの納付となりますと、キャッシングによって納めたりする方がいらっしゃるかもしれないことが懸念されまして、国民健康保険料についてはクレジットカード収納を導入していないという現状でございます。

**【渡辺委員】**

関連して伺います。保険料収納率が大変高くなっているというのは、これは、ご当局のご努力があつてのことで、たいへん良いことだと思っておりますし、また、納めてくださる方々のご理解とご協力が相呼応してということなのだと思います。鎌田委員のご質問にもありましたけれども、滞納したくて滞納しているわけではない方もたくさんいらっしゃるのをごさいます、そういう方々に対する配慮はどうしているのかということと、差押えが759件ということでございますけれども、これは傾向として増えているのか、それとも減少しているのか、ご説明ください。

**【保険料徴収担当課長】**

まず滞納整理の手法についてでございますが、きめ細やかな滞納整理というのを重視しております。納めたくても納められない方、納められるのに納めない方を見極めまして、納められるのに納めない方を滞納処分に導いていくという形になります。滞納処分の759件というのは政令市のなかでは少ない方でございますが、大体年間20%ぐらいずつは増えているというところでございます。今年度、平成30年度は見極めの作業は大体終わったというところでございます、今年度は若干増えるという見込みでございます。

**【渡辺委員】**

分かりました。納付したくても納付できない方、納められるのに納付しない方、この見極めは大変難しいと思います。丁寧にしておられるというご説明をいただきましたけれども、なお、その点についてはご留意いただいて、取り組んでいただきたいと思います。

**【会長】**

他にございませんか。

ご意見、ご質問がなければ、協議事項の「平成 29 年度仙台市国民健康保険事業特別会計決算（案）について」は、原案の通り承認することにご異議ございませんか。

【「異議なし」の声あり】

ご異議なしと認めまして、原案の通り承認いたすことに決定しました。

○（2）報告事項

**【会長】**

続きまして、報告事項の「事業費納付金・標準保険料率算定に係るスケジュールについて」事務局より説明願います。

**【保険年金課長】**

（資料 2 に基づき説明）

**【会長】**

ただいま説明がございました件について、ご意見・ご質問等はございませんか。

【「なし」の声あり】

ご意見ご質問等がないようでございますので、報告事項の「事業費納付金・標準保険料率算定に係るスケジュールについて」は以上といたします。

○（3）その他

**【会長】**

本日の議事は以上となりますが、この際、何か委員の皆さま方からご意見・ご要望等がございましたら、ご発言願いたいと思います。

**【渡辺委員】**

本運営協議会に直接関わることではないかもしれませんが、関連すると思われしますので、ご当局のご認識とご見解をお聞かせいただきたいと思います。

バルサルタン錠という降圧剤がございます。これは、日本の製薬会社が製造して、降圧剤として広く治療に使われているということでございますが、発がん性物質があるということがヨーロッパ発で公表されて、日本政府も動き始めた、ということを知っております。この件について、概要、それから今日までの経過を、お聞かせいただければと思います。

**【健康福祉局長】**

ただいまご紹介がございましたけれども、ある製薬会社で製造・販売をしていた薬品、バル

サルタン錠 AA という高血圧症の薬についてでございます。原薬は中国で製造されているということでございますが、原薬の製造過程で発がん性物質が混入したというふうなことが海外規制当局から情報提供され、当該製薬会社は、7月5日にその製薬会社の監督官庁である東京都に自主回収の届出を行い、自主回収に入ったということでございます。現在も回収の途上にあると聞いております。さらに、発がん性物質が混入されているというふうなことでございまして、当該製薬会社において、健康被害のリスクについても現在評価を進めているということをお伺いしております。なお、このような事態が生じた時の回収等の仕組みにつきましては、法律に基づきまして、製薬会社を中心に、監督官庁である自治体、さらに厚生労働省、というところでの進め方が定まっております。現在、その仕組みに基づいて進んでいるものと承知をいたしております。

#### 【渡辺委員】

回収にあたっては最中であるということでございます。回収に関わるクラス分類というものがあるそうです。不良薬品・医療機器等の使用によってもたらされる健康への危険性の程度により分類されておりました。クラス1からクラス3まで3種類、今回の場合はクラス1、つまり、その製品の使用等が重篤な健康被害または死亡の原因となりうる状況だということでございます。私、一般市民として、これは大変なことだなというふうに思っております。このクラス1というのは、素人の調べ方ですから漏れがあると思えますけれども、あまり今まで例がない、ということのようでもございます。取り組みは、真剣にやっていたかなくてはならないと思えますけれども、本市の対応はこれまでどのようなことであったのか、本市ができることはどんなことなのか、ご説明をいただきたいと思えます。

#### 【健康福祉局長】

ただいまご紹介のとおり、今回、クラス1に相当するということで回収が始まっているわけでございます。重篤な健康被害または死亡の原因となりうる状況に陥る恐れがあるということございまして、現在その製薬会社を中心に進めている、服薬者に対する健康にもたらす影響の評価、リスクの評価がやはり重要であろうと私どもも考えているところでございます。先ほど申し上げましたように、今回、国の定めている仕組みによって手続きが進んでいるということでございますが、私どもとしては、その仕組みが迅速かつ適切に進んでいくことが大事であると思っております。7月初旬に始まった回収ですけれども、7月中旬、あるいは8月初旬、数次にわたりまして、現在手続きがどのように進んでいるのかということについて、製薬会社、あるいは監督官庁である東京都に確認をさせていただきながら、その仕組みが迅速かつ適切に進んでいくように努めてまいったところでございます。リスクの評価というものがいずれ明らかになるとは思いますが、バルサルタン錠 AA を納入した医療機関はすべて製薬会社で把握しておりました。国が定めている仕組みにより、製薬会社から納入をしたすべての医療機関に対して情報が提供され、リスク評価が終われば、その情報も製薬会社から医療機関に伝えられるものというふうに考えております。そのような手続きを、当然、監督官庁や国の厳格な監督のもとで進めていくことになるわけですが、私どもとしては、その評価が出た時にどのよう

な対応が必要になるのかなど、さまざまな対応をイメージさせていただきながら、まずは回収、あるいはリスク評価というものが迅速に進んでいくように努めてまいりたいと考えております。

**【渡辺委員】**

仙台市立病院でこのバルサルタン錠 AA が使われているか調査をしていただきました。幸いにして使われていない、ということで安心をしておるところですけれども、調査中とはいえ、仙台市内でこの薬が処方されている可能性はゼロではないわけでございます。事は命に関わる問題、発がん性物質が混入されている、というふうに私は認識をしたのですけれども、重大なことでございますので、生命と財産を守る立場の市長、そのもとで動く仙台市役所は、重大な関心を持って取り組んでいくべきだろうと思います。東京都が監督官庁ということで、仙台市ができることは今現在限られている、というかほとんどない状態のようではございますけれども、東京都に対していち早く調査をして、仙台市が対応できることに着手できるように、今後取り組みをしていただきたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

**【健康福祉局長】**

ただいまご指摘のとおり、市民の皆さまの健康に関わる事柄である、というふうに思っております。私どもも重大に受け止めているところでございます。先ほど申し上げましたように、薬品の安全性が疑われるような事態に陥った時の取り組みについては、法定の仕組みがございますので、これを迅速かつ適切に進めていくことが今の時点でやれる何よりも大事なことで、思っております。私どもとしても、製薬会社あるいは監督官庁の東京都に、現在の進捗を確認させていただくことも進めてまいったところでございます。引き続き、その手続きの進捗状況に重大な関心を払いつつ、もちろん迅速かつ適切に進んでいくものと思いますけれども、なかなか進まないというときには、迅速かつ適切に進めてほしいというようなことも訴えながら、この仕組みがスムーズにスピーディに動くように対応してまいりたいと思います。

**【会長】**

他にございませんか。

**【青沼委員】**

今のことに関連してですが、この薬が処方されているかということは、医療機関はほぼ分かりません。血圧の薬を処方している開業医の、かなりのところは院外処方なので、一般名で書きますから、薬局でどの薬を出すかまで把握しません。医療機関に問い合わせるということではなく、納入した薬局を調べないと仙台市の実態は分からないのではないのでしょうか。

**【健康福祉局長】**

私、東京都や厚生労働省の公表資料をもとにお話しをさせていただきましたけれども、公表

資料では医療機関には薬局も含めて表現をされているようでありまして、製薬会社ではそれを納めた薬局も含めてすべての機関を把握しており、それぞれの機関に情報提供、連絡をしているということで伺っております。

**【会長】**

他にございませんでしょうか。

事務局は何かございますか。

**【保険年金課長】**

事務局からは特にございません。

**【会長】**

それでは、以上をもちまして本日の運営協議会は閉会といたします。委員の皆様方には円滑な議事進行にご協力いただきまして誠にありがとうございました。